

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	利用者の思いを個別ノートの記載し、ケアにつなげていくようにしているが、個々の担当により差があり、思いが形にならない利用者もいる。	現状より少しでも利用者の思いや家族の思いが具体的な形になるように支援する。	①職員の育成(個別ノートの記載方法の習熟、利用者やご家族への関わり方の習得など) ②全体のフォロー体制の充実	6 ヶ月
2	50	生活の中に利用者が出来る範囲で役割を持っていただくようにしているが、まだ少なく、まだ出来る事としていただいていることに差があると感じられる。	利用者の能力、今までしてきたことを把握し、出来る事、役割を増やしていく。	①利用者が出来る事の抽出 ②実施しやすいように工夫 ③全職員でその過程を学ぶ	6 ヶ月
3	37	災害対策訓練を実施しているが、地域住民が直接訓練に参加出来ていない。	地域の方にグループホームの利用者の現状を理解していただき、少人数でも日頃の訓練から関わっていただく。	①利用者の状態の啓蒙 ②地域住民代表者への依頼 ③災害訓練への地域住民の参加	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。